

勅授

昭和十五年
一月十九日

立案 昭和十五年正月

決裁 昭和 年 月 日

爵位課長

宗秩寮總長

宮内事務官

特命全權大使東郷茂徳外二十九名敍任
件

昭和十五年正月八日裁可
臺帳記入 十月二十日官報報告 達

宮内省

裏面白紙



特命全權大使東郷茂徳外二十九名
叙位，件

右謹テ裁可ヲ仰ク

昭和十二年十一月八日

内閣總理大臣公爵近衛文磨



内閣

裏面白紙

外 第 六 七 號

案	起
昭和十二年	十一月八日
決定	昭和十二年十一月八日施行
昭和	昭和
年	年
月	月
日	日

内閣總理大臣

内閣書記官長

内閣書記官

特命全權大使東郷茂徳外二十九名
叙位、件

内閣

裏面白紙

内閣 外務省 第三号

在京

敘正四位

昭和九年七月十六日

二年

昭和十二年十月二十七日

特命全權大使
從四位勳二等

東郷茂徳

右文武官敘位進階内則第三條ニ依リ謹テ奏ス

昭和十二年十月二十九日

外務大臣 廣田

弘

毅



外務省

裏面白紙

内閣内任第四号

敘正四位
昭和七年十月一日
經五年以上
昭和七年三月三十一日
大阪府知事從四位勳二等池田清

右文武官敘位進階内則第二條ニ依リ謹テ奏ス

昭和十二年十月二十九日

内務大臣 馬場 鐵



内務省

大位 十一

在京 叙從四位昭和八年九月一日 正五 經過三年昭和十一年十月一日 大藏省為替局長正五位勲四等中村孝次郎

右文武官叙位進階内則第二條ニ依リ謹テ奏ス
昭和十二年十一月一日

大藏大臣 賀屋興宣



大藏省

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
<http://www.jacar.go.jp>

飯澤高

原義介

仲塚松太郎

長本元男

宮里留八

生
水
乙
松

和田順之

海老原一

右文武官敘位進階内則第二條ニ依リ

謹
テ
奏
ス

昭和十二年十一月二日

司法大臣 鹽野季彦

司馬臣

裏面白紙

內閣
文苑
第六九四号

九所帝國大學教授並位勲三等金子廉次郎

同
同
平光
吾一

右文官叙位進階内則第三條ニ依リ謹テ奏ス

昭和十二年十一月五日

文部大臣侯爵木戸幸一



裏面白紙

内閣 文位第六九三号

叙從四位	昭和大正 正五 位	大正五年七月一日 正五位 上	千葉高等園藝學校教授	正五位 上	川村清一
叙從四位	昭和大正 正五 位	大正五年七月一日 正五位 上	静岡高等學校教授	正五位 上	木宮泰彦

右武官叙位進階内則第二條依り謹テ奏ス

昭和十二年十月二十七日

文部大臣侯爵木戸幸一



文部省

裏面白紙

内閣文位第七〇四号

敘從四位	正 昭和二年十月廿五日	位 五年以上	第一高等學校教授	正五位勲三等	亀井高孝
敘從四位同	同	同	同	同	吉田正通
敘從四位同	同	同	同	同	橋本精次

右文武官敘位進階内則第二條依リ謹テ奏ス

昭和十二年十一月一日

文部大臣侯爵木戸幸一



文部省

裏面白紙

内閣
抄
方
一
七

敘正四位從四位進階内則第二條ニ依リ

右文武官敘位進階内則第二條ニ依リ
謹テ奏ス

昭和十二年十一月一日

朝鮮總督 南次郎



一 明 洋 恩 督 符

機密

人機密第一〇七四號

昭和十二年十月二十九日

外務大臣 廣田

弘毅

内閣總理大臣公爵近衛 文麿 殿



特命全權大使東鄉茂德敍位ノ件

特命全權大使從四位勳二等東鄉茂德敍位ノ件別紙ノ通上奏致候間可
然御取計相成度此段申進候也

外務省

12.7

主任者、人事課、笠原



16

機密

人機密第一〇七四號

昭和十二年十月二十九日

外務大臣 廣田

弘

毅

内閣總理大臣公爵近衛文麿殿

特命全權大使東郷茂徳敍位ノ件

特命全權大使從四位勳二等東郷茂徳敍位ノ件別紙ノ通上奏致候間可
然御取計相成度此段申進候也



外務省

12. 7

めくれず

裏面白紙

16

裏面白紙

17

甲第九六六號

別紙

池田清敘位

ノ件

上奏書進達ス

昭和十二年十月二十九日

内務大臣 馬場 鐵



内閣總理大臣公爵 近衛文麿殿

内務省



職第三四

昭和十二年十一月一日

大藏大臣賀屋興宣

内閣總理大臣公爵近衛文麿殿



一別紙 中村孝次郎叙位

右上奏書及進達候也

大藏省



裏面白紙

裏面白紙



司法省人恩第一二〇三號上奏
右執奏有之度候也
壹件

昭和十二年十一月二日

司法大臣鹽野季彦

内閣總理大臣公爵近衛文麿殿

判事梶田年外十名進位、件

裏面白紙

司法



司法省人恩第二。四號上奏
右執奏有之度候也
壹件

昭和十二年十一月二日

司法大臣鹽野季彦

内閣總理大臣公爵近衛文麿殿

檢事飯澤
高外七名進位件

文 部 省

發秘五二六號

金子廉次郎外一名敍位ノ件

右上奏書及進達候也

昭和十二年十一月五日

文部大臣侯爵木戸幸



内閣總理大臣公爵近衛文磨殿

省 將 文

内閣總理大臣公署近衛文磨殿

文將大臣近衛木戸幸

昭和十二年十一月五日

式上奏書及進達候也

金子兼次郎長一丞藤原八郎

發秘五二六號



省 部 文

發秘五二五號

川村清一外一名叙任ノ件

右 上奏書及進達候也

昭和十二年十月二十七日

文部大臣侯爵木戸幸



内閣總理大臣公署近衛文磨殿

省 將 文

内閣總理大臣公爵近衛文磨殿

文將大臣近衛木下幸

昭和十二年十月二十五日

式上奏書及進達候也

川林前一代一文殊部

發給五二五號



發給五三二號

亀井高孝外二名叙位ノ件

右上奏書及進達候也

昭和十二年十一月一日

文部大臣侯爵木下幸一



内閣總理大臣公爵近衛文磨殿

省 部 文



文 將 督

内閣總理大臣公署近衛文磨殿

文將大臣近衛木下幸一

昭和十二年十一月一日

式上奏書及郵送新式

高井高孝長二氏様外一軒

發給五三二號



官秘第三三四七號

昭和十二年十一月一日

拓務大臣 大谷 尊 由



内閣總理大臣 公爵近衛文磨殿

高木市之助叙位、件朝鮮總督上奏書
右及進達候也



24

市見重義親也

高木市之明孫外孫藤原朝臣上達

内閣参事大臣 公卿並論文書親

大谷尊由

昭和二十一年十一月一日

官印番三三四六

(通達用紙)



(日本標準規格 B4)